

見込み。新谷順一社長は「納期を確実に守るといふ姿勢が信頼につながっている」と、海外向け拡大の理由を話す。

同社は17年、洗い加工

ザ・フラッグ・シップス

常設店が好調な船出

福山にB2Cの新たな拠点

広島県福山市の織維関連企業を含む11社は、各社のフラッグシップモデルを発信するブランド「ザ・フラッグ・シップス」の常設店を7月15日に開いた。旗振り役の副キャプテンを務める三島進氏(皮革製造販売のレサースタジオサード社長)は、「福山駅前の好立地で新しい客層をつかんでいる。将来的には各社が駅前に出店し、モノ作りストリート」としての観光客のツアーも構想にある」と語る。アトリエ兼ショールーム機能も備え、全国屈指の技術力・生産力をアピールする。

受注も増加。現在、レーザ加工も順調に動いており、裁断もフル稼働している。

受注が拡大している製品OEMと加工の売り上

これまで、参加企業はB2Bが中心だったが、

一般に向けての販売店に、モノ作りと関係のない客層が来店している。

ビジネス街であるため平日には会社員、百貨店が近いため平日・休日問わず女性が多く、年齢層は20〜70代と幅広い。洗い

加工の四川の能登晃司社長は「スツールなどデニムループの商品は、昨年1年間よりこの2週間の

方が売れていると話す。店舗は、各社持ち回りで月に3、4回ほど販売

スタッフを派遣して運営。直接消費者の声を聞くことができる環境は貴重

業者など、取引先が拡大。昨年、東京に事務所を開設したことも受注拡大につながってきた。

自社ブランドの「パレットライフストリー」

フラッグシップモデルを陳列し内装は船をイメージ



業(愛知県蒲郡市)は、来年夏ごろをめどに東北地方にリクルート事務所を開設する。同社の生産現場では人材の高齢化が著しく生産能力が低下し

術の段落ち抜染のトリ

靴を販売する中で「取引先の商社と売り方を共有できて

いる(経営管理本部の森定加奈子

係長)戸板一平取締役は「B2B

のきっかけにならば」と言う。

アルファ企画は木目を擦り出したウッドデニムのフックカパーなどを展

開。廣中登志治社長は「潮町港、で船の製造・修理からモノ作りが始まった歴史を知ってほしい。それを象徴する価値ある商品を打ち出した

に力を入れる。カーテン地に独特の膨らみ感を付与する「SDH S加工」の人氣が続いて

いるため、一定水準の受注は確保できている。ただ、従業員の高齢化が進

んでおり、嶋田義男社長は「現場の力が落ち、思

人従業員と給料などの待遇はほとんど変わらず、福利厚生も充実させている」と言う。

染料の高騰響き減収減益

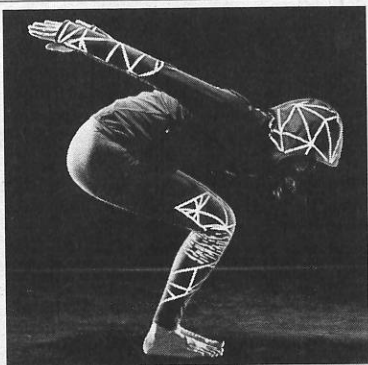
艶栄工業は今期(2019年11月期)が5カ年

スリーエムジャパン

黒色高輝度の反射材発売

企画・デザインの幅広げる

スリーエムジャパン(東京都品川区)は8月20日、黒色の反射材「3Mスコッチライト反射トランスファフィルムC790」(C790)を発売する。既存の黒色反射材より高い反射輝度を持ち、色や輝度の洗濯耐性も高い。伸縮性があり、ひび割れもしにくい。C790は黒色でありながら、300cd/lx・㎡とこれまでの濃色反射材の3倍以上の輝度を持つ(3M調べ)。学生服など定番のシルバードはデザイン性を損なうとされてきた衣料品



学生服などにも反射機能を持たせることが可能に

これまで服飾資材用反射材はシルバードが定番とされてきた。黒色の反射材のニーズはあったものの、黒などの濃色で反射機能が低くなってしまう課題があった。C790は、反射機

5月の綿織物輸入財務省貿易統計を基日本紡績協会がまとめた。前年実績を下回った。前月に続いて2千

にも反射材を付けられようになり、衣料品の画・デザインの幅が広がる。

付きの道路交通標識やい切れ味が長持ちする磨材にも使われる。3M基幹技術の一つ「高精度表面技術」を応用して

発した。織維資材商社織維資材加工会社を通じて販売する。

スリーエムジャパン全衛生製品事業部の異

春香さんは「デザイン